

学部 FB 学部フェイスブック  
<https://www.facebook.com/hoseicareerdesign>

学部 HP 学部ホームページ  
<https://www.hosei.ac.jp/careerdesign/index.html>

公開授業 学部インターネット公開講座  
[https://schoo.jp/campaign/2014/hosei\\_univ](https://schoo.jp/campaign/2014/hosei_univ)

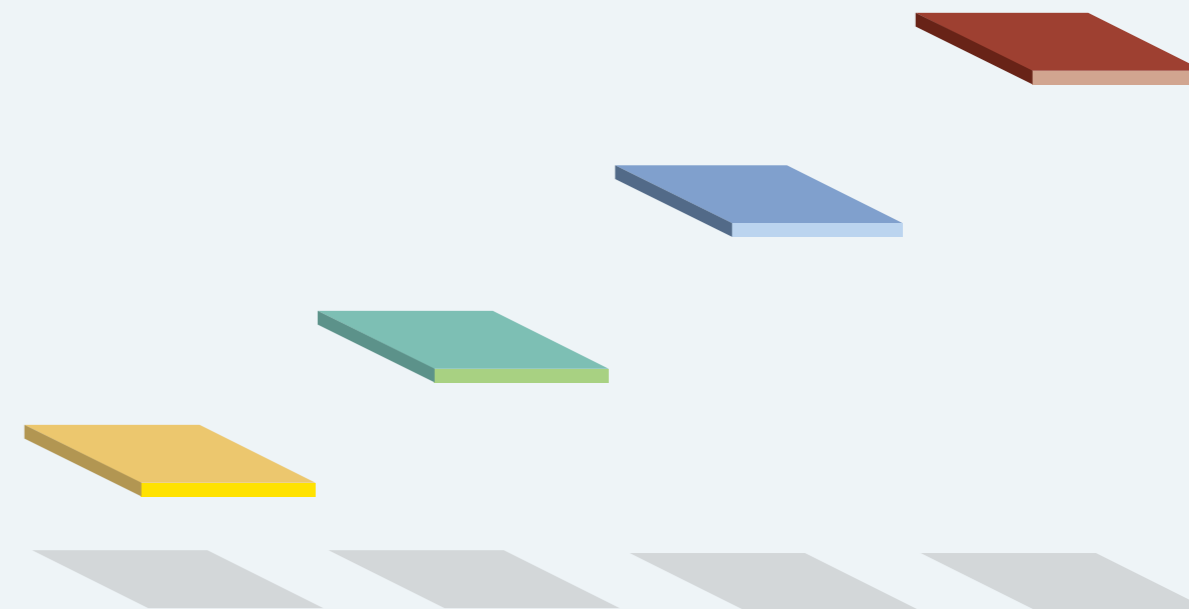
YouTube キャリアデザイン学部チャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCnWyfxKYxbchdJzzKSY4KA>

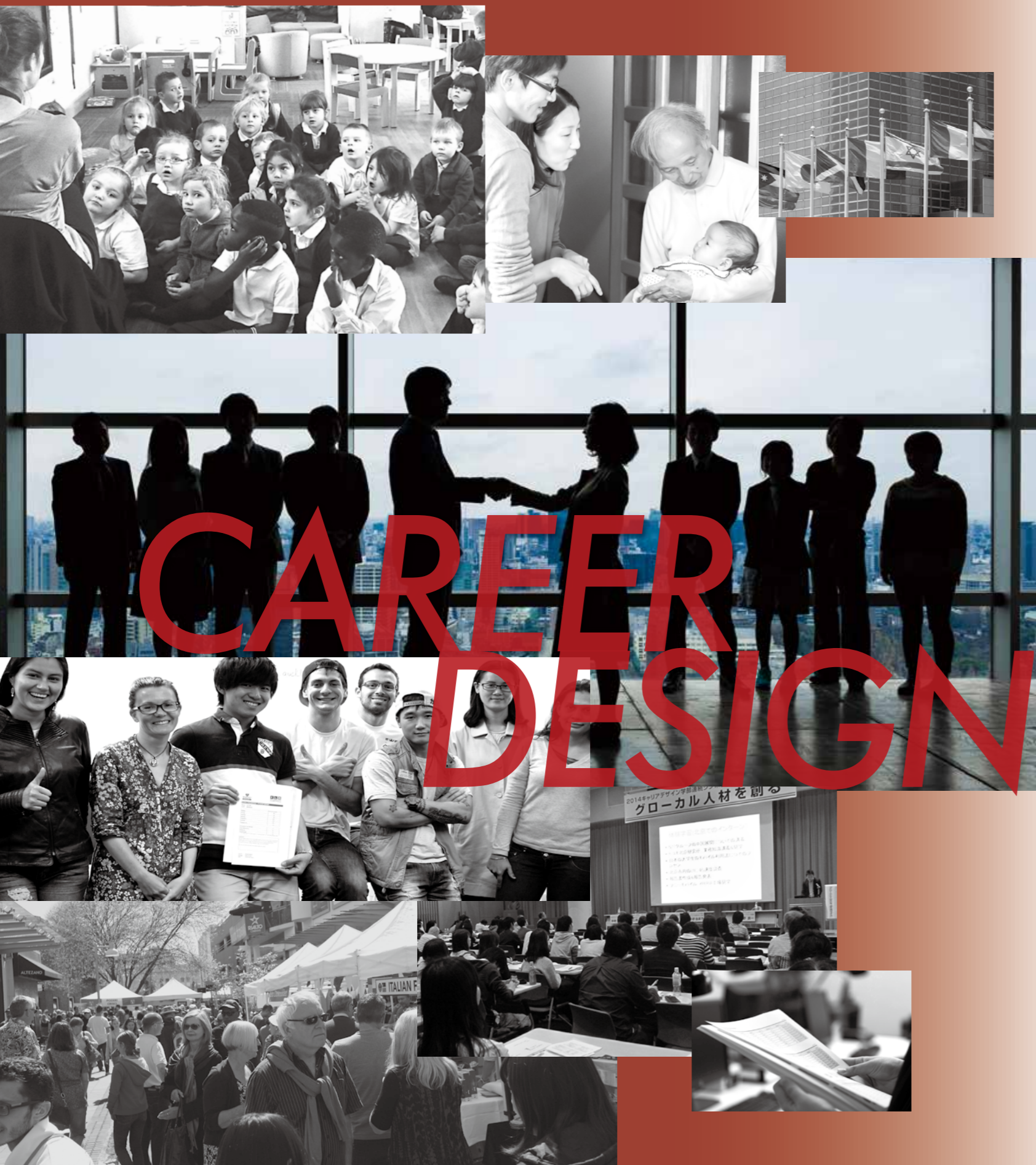
# 2017 キャリアデザイン学部



ポアンナード・タワー(市ヶ谷キャンパス)

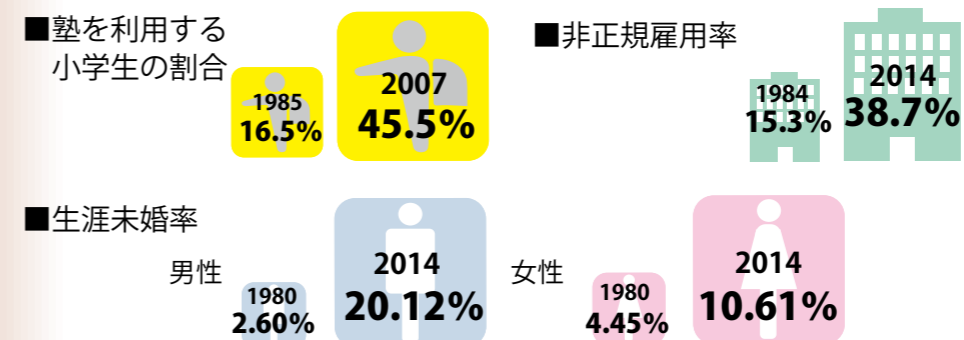
生きるを考え  
はたらくを学ぶ





# CAREER DESIGN

## 社会はこの30年大きく変わった これからも変わり続けるだろう



私たちの「学び方」「はたらき方」「暮らし方」の目覚ましい変化は、社会全体が変化していることを表している。こうした変化は、グローバル化、産業構造の変化、格差社会などによってさらに加速するに違いない。

## 求められるのは今に順応する力ではない 変化に対応し 変化を自ら造り出す力だ

「有名な会社」「一部上場企業」に就職する。そんなことを大学生生活のゴールにできたのは、終身雇用という制度が整っていた時代の話だ。世界に名だたる企業でさえ倒産する現代には、社会の荒波に流されることなく生き抜く力が、いや、社会の新たな波を生み出す力こそが、求められている。

## 机上の空論をやめて どのような時代にも通用する実践力を備えた 人生設計(Career Design)のプロフェッショナルになろう

では変化に対応する力はどのようにして身につければよいのだろうか。『自転車の乗り方』というガイドブックをいくら読んでも自転車に乗れるようにはならないように、教室の中で理論をこねくり回すだけでは、本当に変化に対応できる実践力は身につかない。実社会とつながった学びをとおして、変化に富んだ社会における、他者の／自分のキャリアデザインに関するたしかな専門性を身につけよう。

## 「自分」と向き合い、「社会」を知り尽くし、キャリアデザインを創出する



キャリアデザイン学部  
学部長 金山 喜昭

2003年、われわれは、これまで世の中に存在しなかった、「キャリアデザイン」という学部を創設しました。あれから十数年、本学部から社会に発信してきた「キャリアデザイン」は、法政大学のブランドのひとつとして大きく成長・発展してきました。なぜ、私たちは「キャリアデザイン」という学部を設立したのでしょうか。

1990年代になると、それまで経済成長を続けてきた日本は、「成熟社会」といわれるように低成長経済の社会へと移行してきました。景気が良かった時代には、社会の矛盾は、お金で解決することもできました。しかし、景気が悪くなると、様々な社会問題が浮きぼりになりました。たとえば、非正規雇用者や若年失業率が増加していることや、地域社会の衰退などもあります。こうした問題には、日本のような民主主義の社会では、「市民」が主体的に社会変化を造りだし、問題を解決していかなくてはなりません。しかしながら、現代を取り巻くたくさんの課題を見ると、私たちは何事も政府に任せてきてしまった、といえるのではないのでしょうか。

こうした社会背景を踏まえて、キャリアデザイン学部が教育目標とする「育てたい人材像」は、ひとつには、自らのキャリア（学び方、働き方、暮らし方）を主体的に開拓していくことのできる自律的 / 自立的な人づくりです。もうひとつは、他者のキャリア形成を支援していくことのできる専門性をもつ人づくりです。この二つの人間力を身につけることは、皆さんがこれからの時代を生きるための前提だと考えています。将来、ビジネスマン、公務員、教師、起業家、キャリアカウンセラーや、マスコミ、情報・文化産業、国際ビジネスなどなど。どのような職業に就き、その中でどのように周囲の人びとと関わりながらキャリアを積み重ねていくうえでも不可欠な、人間としての「核（コア）」となるものです。

現実の社会は、複雑な出来事や課題から成り立っているため、これまでのように、単一の専門領域から問題を解き明かすことは、しばしば困難になっています。だからこそ、本学部では、教育とビジネスとライフに関する幅広く深い学びを統合的に学べるカリキュラムを、皆さんに提供します。皆さんが自分の興味や関心に合わせて、自ら主体的にカリキュラムを選択し、複合領域を横断的に学び、自分なりの研究テーマを設けて、研究成果を出すことが、本学部では可能です。

キャリアデザイン学部は、これからの時代を開拓する「自分」づくりに挑戦しようとする人たちを歓迎します。

### アドミッションポリシー

本学部ではすべての入試経路にわたって、学部の基本的な理念・目的を理解し、学習への意欲を持ち、大学で学ぶために必要な基礎学力を有する学生を受け入れる。また、上記の条件を満たしていることを前提としたうえで、多様な学習履歴を持つ学生、社会活動や文化活動等の実績を有する学生を幅広く受け入れることも方針としており、その具体化のために、一般入試（3科目型、センター試験利用）以外にも、社会人入試、自己推薦入試、指定校推薦、付属校推薦、留学生入試、スポーツ推薦入試、転編入入試を実施している。いずれの入試経路からの入学者にも、高校までに履修する科目について、入学時に十分な基礎的素養を身につけていることを求める。

### カリキュラムポリシー

本学部では以下の方針のもとに教育課程を編成・実施している。

1. 専門科目を講義科目「演習」「体験型学習」に分類している。科目分類設置と育てたい能力の対応関係を意識することで、教育課程の体系的な履修を担保している。
2. 科目群の連続性として「基礎」「基幹」「展開」「関連」の科目種別を明示して、学生の段階的・系統的な履修を促している。
3. 講義科目については、各科目が「発達・教育キャリア領域」「ビジネスキャリア領域」「ライフキャリア領域」のどこに位置づけるかを明示し（複数の領域を横断する科目もある）、学生が自らの「専門性」の形成を意識した体系的な履修を行うように促している。

### ディプロマポリシー

本学部では学士(キャリアデザイン)の学位授与に当たり、以下のような能力を有していることを重視する。

1. キャリアデザインが求められる社会的背景、およびキャリアデザインに関する基本的な知識やアプローチの方法について幅広く理解している。
2. 特定のアプローチについては、それを活用できる専門的知識やスキルを有している。
3. キャリアデザインに関わる社会現象や政策・施策等について、自ら研究を深め、一定の成果を残すことができる。
4. 自己のキャリア形成や他者のキャリア形成支援に資する一定のソーシャルスキルを獲得している。

生きる考え はたらくを学ぶ

### キャリアデザイン学部の 学びの特徴



実践知と学問知の融合

## STEP 1

### 豊富なインターンシップの機会 による 実社会で積み上げる 豊かな体験

座学で知識を詰め込むスタイルは、今日の社会では通用しません。ですから、社会に出て、現実を知り、はたらく喜びと厳しさを知り、はたらくことと生きることをつなぐ学び（キャリアデザイン学）が必要です。さらに本学部では、授業（体験型選択必修）でのインターンシップに加え、ゼミ、留学など、実社会に出て学ぶ多様なチャンスを用意しています。一度きりのインターンシップでは、その会社のことは学べても、別の会社のことは学べません。経験を積み重ねることで、どんな環境にも対応できるようになる。いま求められるのは、変化する社会に対応していけるしなやかな強さなのです。

## STEP 2

### 充実した体験を支え展開させる たしかな学問知

インターンシップという言葉、最近よく聞きます。取り組む大学は本学以外にも増えています。でもはたして、会社で一定期間働いてくれば、それで実践力はつくのでしょうか。インターンシップの目的は、はたらくことを通して、自分を知り、社会を知り、それらをたしかな分析によって高次の次元に高めていくことです。この展開があって初めて、変化していく社会でも、生きぬく力がつきます。ですから、インターンシップの体験を分析するたしかな研究方法がなければ、意味がありません。本学部では、学ぶこと、はたらくこと、暮らすことに関する専門的な学問を学ぶことになります。

## STEP 3

### 体験と体験を 知識と知識を 体験と知識を 統合する力

多様化する生き方・価値観・社会の中で、変化に対応し変化を生み出すためには、狭い知識や体験では通用しません。かといって、知識と経験をたくさん増やすだけでも不十分です。なぜなら体験も知識も、そのままでは、ただのバラバラな力に終わってしまい、十分に機能しないからです。必要なのは、体験と体験を、知識と知識を、そして体験と知識をつなぎ合わせ、組み合わせたり応用したりしながら柔軟に使いこなせる力。すなわち統合力。本学部では、実践知と学問知の相互作用をくり返すことで、たくましく豊かな統合力を育成します。

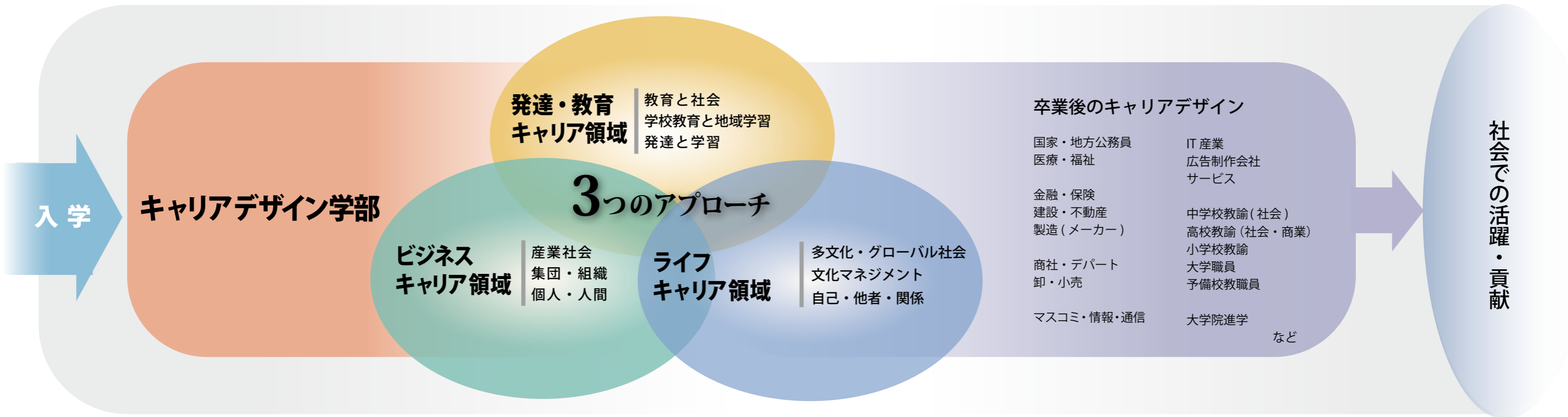
さあ、大学の知は ステージ 新しい次元へ

# 学ぶことはたらくこと 暮らすこと

——人生(キャリア)を構成する3要素

私たちのキャリアと、そのキャリアを支える社会は、学ぶこと(発達・教育)とはたらくこと(ビジネス)と暮らすこと(ライフ)の3つの要素で成り立っています。本学部では、これらを統合する「キャリアデザイン学」という基礎をまず学び、また3要素の基礎を学び、そのうえで、どれか1つに専門分野を絞りこんでゆきます。こうしたカリキュラムを通じて、幅広くたしかな基礎力

と、深く鋭い専門性とを両立します。キャリアと社会を3要素に分解するこうした学びを終える頃には、私たちの生き方や、人生を実践する社会は、短期的な視点ではなく抱括的な視野から新たな次元で捉えられるようになります。こうして、新たな社会で活躍し、新たな社会を生み出す、豊かな人間力を備えた卒業生を世に送り出します。



## 発達・教育キャリア領域

人間がどのように発達するか、どのように学ぶか、教育は社会にどのように貢献するかを学びます。この領域を通じて、生涯学びつづけながら、他者の学びとキャリア形成を支援する人材を育てます。

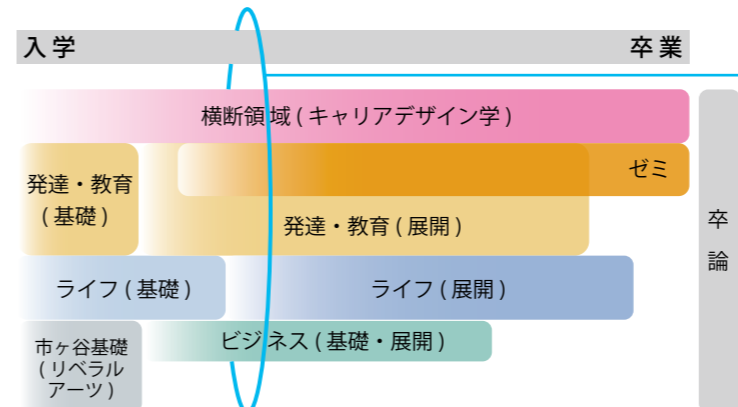
## ビジネスキャリア領域

社会の産業や労働はどのように成立しているのか、そこで人はいかにしてはたらくのかを学びます。この領域を通じて、人間に対する洞察力を備え、経済社会の発展・変革に貢献できる人材を育てます。

## ライフキャリア領域

身近なコミュニティからグローバル化する社会全体まで、私たちの暮らしを支えるコミュニティがどのような成立しているのかを学びます。コミュニティを多面的に理解し、地域の発展を支援できる人材を育てます。

■ Aさん(発達・教育キャリア専攻)の卒業までの履修例



Aさんの2年秋学期の時間割

	月	火	水	木	金	土	日
1限	生涯発達心理学			勉強	勉強		
2限	キャリアカウンセリング		キャリア開発論			カフェでバイト	読書休憩
3限	コミュニティ社会論	カフェでバイト	人材育成論	勉強			
4限	若者文化論		キャリア体験学習	発達・教育キャリア入門	勉強		
5限	キャリアモデルケーススタディ		ゼミ				
6限	英会話	サークル	ゼミ	カフェでバイト	カフェでバイト	遊び	遊び

## 卒業後のキャリアデザイン

キャリアデザイン学部で学んだことを生かして、社会で活躍する卒業生のみなさんに、学部での学びと現在、将来のキャリアデザインについて聞きました。



経済産業省 経済産業政策局  
産業再生課 再生二係長  
**横倉 幹人**  
(2011年3月卒業)

現在、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット：Internet of Things）等がどう社会構造を変えるのかという官民の羅針盤となるビジョンを策定する仕事をしております。それは最先端であると同

### パブリシティーを創り支える

時に、世界で誰も答えを持っていない課題でもあります。その答えのない問題に対して、日本の明るい未来に向けて、とことん議論し、対策を練ることにとりやがいが感じています。問題の本質は何か、それを多面的に考察できるようになったのは、学部の先生方のご指導のお陰だと思っております。

#### 職場の上司からのコメント

横倉さんは、日本の競争力強化につながる産業再編の担当係長として、企業との意見交換やサポートを精力的に進めてくれています。人工知能を始めとする急激な技術革新を「第4次産業革命」と捉え、世界に負けない日本経済を創る

のに必要な官民の取組を明確化する、「新産業構造ビジョン」の検討チームの中核メンバーでもあります。新たな制度を創り上げたいという前向きな姿勢から、上司・同僚だけでなく他省庁や企業の方々からの信頼も厚く、私もとても頼もしく思っています。常に周りに目を向け、細やかな心配りのできる彼の、今後の行政官としての更なる成長を、とても期待しています。

経済産業省  
経済産業政策局  
産業再生課 課長

**井上 博雄 様**



テレビ朝日アナウンサー  
**池谷 麻依**  
(2015年3月卒業)

### 時代と情報を創り伝える

「お願い!ランキング(水・木)」と「週刊ニュースリーダー」という番組を担当しています。キャリアデザイン学部では、発達・教育領域のゼミでゼミ長を務めました。学生から様々な意見を得るため、質問や時間配分を工夫して進行を担当した経験。また、キャリアサポート実習で学んだファシリテーションスキルなども、番組を進行する立場になった今、大いに活かしているなど実感しています。取材で関わったすべての方の気持ちを考えながら情報を伝えられることに充実感を感じています。

#### 職場の上司からのコメント

半年間の研修を経て、「バラエティ」と

「ニュース情報番組」という、全くキャラクターの違う放送番組を担当してもらっていますが、特にバラエティ番組では芸人さんの「ムチャ振り」や「ボケ・ツッコミ」にも動揺することなく、その堂々とした進行ぶりに驚くとともに、頼もしさも感じています。一方で女性らしい細やかさや気配りも持ち合わせています。これからも初心を忘れることなく頑張ってもらいたいと期待しています。

総合編成局  
アナウンス部長

**田中 義樹 様**



三菱UFJモルガン・スタンレー証券  
本店金融公共法人第一部  
第一課 課長代理  
**赤澤 美奈子**  
(2010年3月卒業)

### ファイナンスを支え動かす

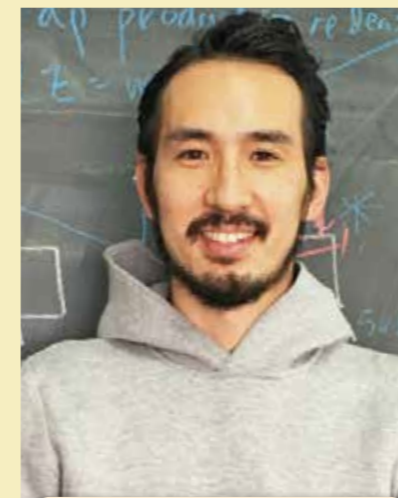
法人のお客様に対する資産運用のご提案をしています。法人のお客様は取引金額も大きく、時間のかかる案件も多いです。上司や、様々な部署の方々力を借りながら提案していく為、成約した時はとても達成感があります。キャリアデザイン学部は外部講師の方のお話を聞く機会が多くありました。現在の仕事は様々な業種のお客様と接するため、その時の経験は役立っていると感じます。また、フィールドワークを重視するゼミでの経験が営業にもいかされていると思います。

#### 職場の上司からのコメント

赤澤美奈子(平成22年3月・キャリアデザイン学部卒、4月入社)さんは、リテール営業

を4年半経験した後、社内のジョブチャレンジという公募で手を挙げていただき平成26年11月より当部で、学校、財団、社団法人等の公共法人営業を担当してもらっています。赤澤さんはとにかくポジティブで陽気。お酒も酒豪でとにかく人気者です。一方、仕事は負けず嫌いで執念がすごいので当然お世辞抜きで仕事ができ、まさに若手営業マンのリーダーとして大活躍です。ちょっとほめ過ぎましたか(笑)。

本店金融公共  
法人第一部長  
**金子 良雄 様**



2007年に卒業後、株式会社エニグモに勤務  
2011年 SARAH 起業  
代表取締役  
**高橋 洋太**  
(2007年3月卒業)

### 働く場を創り支える

前職で上場を経験し、現在は株式会社 SARAH というグルメアプリの会社を運営しています。自分のアイデアで世界を変えられる起業には非常にやりがいを感じています。起業はリスクが高いと思われがちですが、知識と考え次第ではむしろリスクが低くなると実感しています。大学で学んだベンチャー経営学の知識は今の仕事に直結していますし、仕事や人生への価値観を育てて頂いた事は社内外問わず人を巻き込む土台となっています。

#### 元会社の上司からのコメント

高橋には弊社にて4年間、複数の事業を担当してもらいましたが、どんな状況でも

耐えぬくメンタリティで会社を下支えしてくれました。新規事業、新事業部設立、初の海外出張など前例のない業務で活躍をしてもらい、結果的に株式上場を果たす事が出来ました。現在は退職し彼自身で会社経営を行っておりますが、持ち前のアントレプレナーシップで会社を成功に導いてくれると期待しています。

株式会社エニグモ  
代表取締役  
**須田 将啓 様**



## 体系的に・学際的に・実践的に・人と社会について学ぶ

3つの領域を相互に組み合わせて関連させ、理論と実践とをつなぎ合わせて学びます

1年次には、3領域を統合した「キャリアデザイン学入門」を学ぶとともに、各領域のうち2つ以上を選択し、その基礎を学びます。ダブルメジャー（専攻科目を2つにすること）にすることで、学際的に学ぶと同時に、自分の興味関心を鋭く探っていくことができます。また1年次には、レポートや論文の書き方、ディスカッションの仕方といった「アカデミックスキル」の獲得と、研究調査を進める専門的手法とを学びます。

2年次のゼミ選択に際して、自分の専攻領域を1つに絞り込み、その領域を中心に、専門科目を学んでいきます。

ゼミは2年秋学期にスタートし、卒業研究に向けて、少人数制での密接な指導が受けられます。

2年次からは、体験型の授業も始まります。半年間の綿密な事前指導を受けたうえでのインターンシップは、戻ってきてからのさらに半年間の振り返りによって、専門科目との結びつきをしっかりと理解できるものになっています。4年次の卒業論文では、キャリアデザインという学問全体の枠組みの中で、自分の専門的研究を全うします。また、4年間を通じて、全学共通科目である「市ヶ谷基礎」を学び、大学生にふさわしい教養を身につけます。



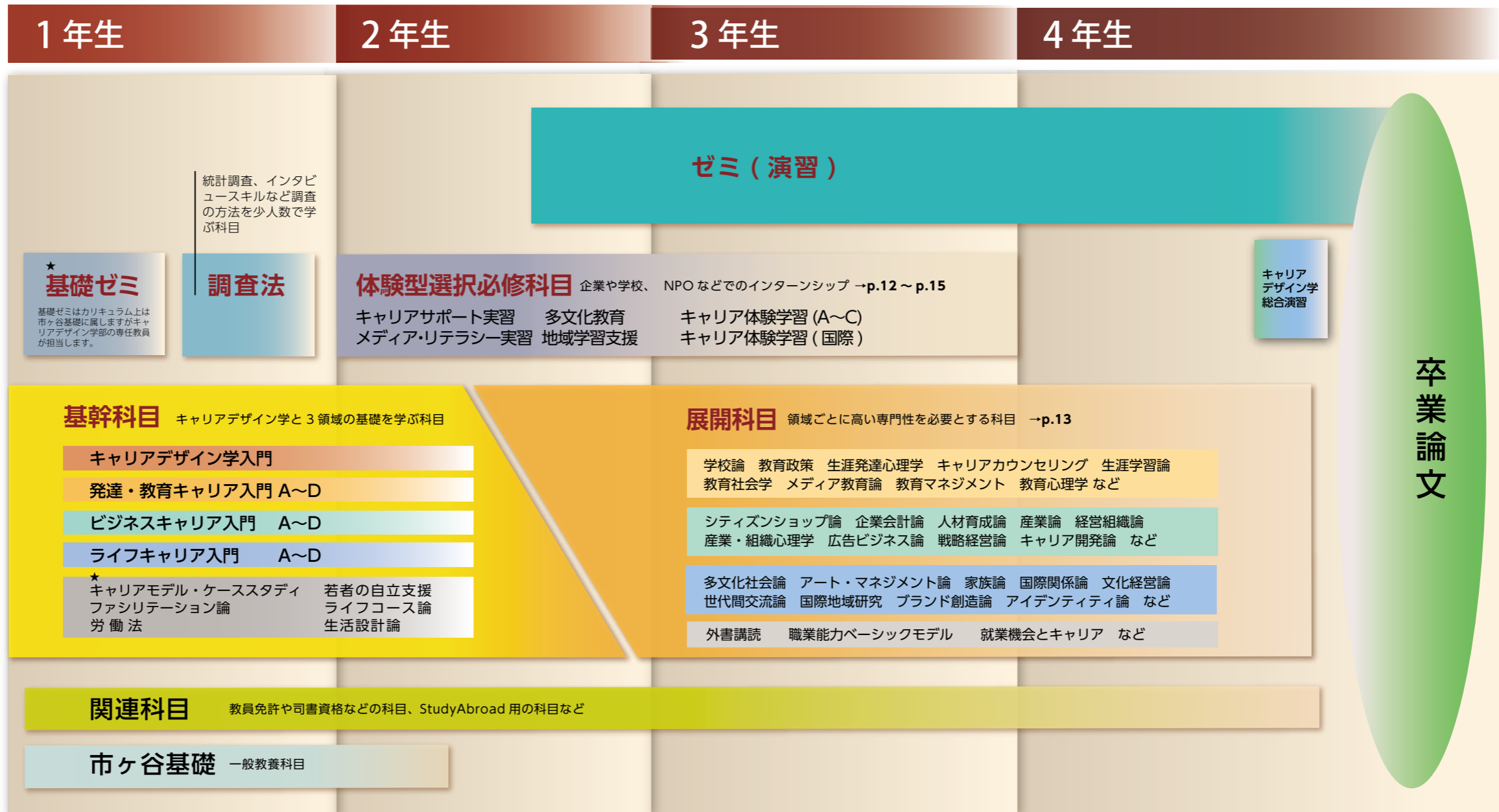
特徴的な科目

### ★基礎ゼミ

レポートの書き方、論文の書き方、専門図書や文献の探し方、使い方、ディスカッションやプレゼンテーションの仕方など、大学では不可欠になる「アカデミックスキル」を学びます。1クラス20人の少人数制で、全クラスを専任教員が担当します。この授業を受けることで、高校までとはスタイルの全く異なる大学の学びに、対応できるようになります。

### ★キャリアモデル・ケーススタディ

毎回様々な場で活躍するゲスト・スピーカーを招き、ゲスト自身のこれまでのキャリア変遷や職業観などを講演してもらいます。単に企業で働くことだけでなく、地域や家庭との関わり方や、生涯学習の進め方など、生の声を多面的に聞くことにより、はたらくことの実態を深く理解することができるようになります。



# 多様な場で味わう 社会の厳しさとやりがい

## 体験型選択必修科目

2年次以降、全員が「体験型選択必修科目」を履修します。この科目は、国内での活動と国外での活動に大別されます。産学連携やボランティア活動など、多彩な活動があり、事前指導、事後指導を含め、1年間をかけたインターシッとなり。複数のインターシッの履修が可能です。

### 〈国内の活動〉

国内でのインターシッは、企業・学校・NPO・官公庁など多様な場で実践を積みま。

### キャリアサポート実習

キャリアサポート実習は、高校生等にキャリア教育プログラムを実施します。学生は高校生等の意見を引き出したり、話し合いを円滑にするようにファシリテーターとして関わります。このような関わりができるようになるために、事前指導では傾聴やファシリテーションスキルを学びま。



### キャリア体験実習(C)

企業と共同で行うプロジェクト型の学習で、例えばプロジェクト型の授業では、企業から提示されたテーマに沿って、課題抽出、情報収集、企画作成、提案、実施までの一連を行います。チームづくりやビジネスパートナーとの関わり方、スケジュール管理等、働くことにおいて必要なさまざまなスキルを、実体験を通じて体得することができます。



### メディア・リテラシー実習

映画監督を授業に招くなどして、メディア・リテラシーの基礎概念を学びながら、映像制作の基本的な技法を習得します。授業では、キャリア・ヒストリーをテーマにした取材映像を制作し、YouTubeを通じて社会に発信します。



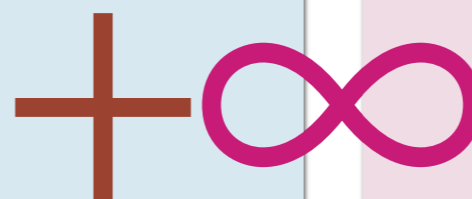
### 地域学習支援

住民が自主的に地域づくりの学びを深めるのに必要な支援、コーディネートの役割などを学び、多文化教育、地域文化振興、コミュニティとメディア等に関する実践的な現場で実習をおこないます。学部独自の資格「地域学習支援士」の育成の中核となる授業です。



### 実践知と学問知の融合

授業で得た学問知が実践の質を高め、体験で得られた実践知が授業の理解を深める。循環し融合する二つの知。



## 多様な内容に高い専門性の講義科目

体験型の授業は充実感があり、学んだ実感を抱きやすいものです。けれどそれだけでは、満足と感動で終わってしまい、力になりません。体験で得たことを本当の力に変えていくためには、自分の体験の意味、意義を客観的に分析し、新たな活動に生かしていくための知識や分析力が必要になります。本学部では、3領域それぞれについての、また領域を横断する内容の、専門性の高い多様な内容の講義科目を開講しています。これらの授業で得た知識が体験型授業の実践の質を高めるだけでなく、体験型授業で得られた充実感や体感をもとに、今度は講義内容の理解が深まります。このように、実践知と学問知が相互に循環・融合しながら高めあい深めあう仕掛けが、本学部の授業には組み込まれています。



### 私のおすすめ授業

#### キャリアカウンセリング (宮城まり子担当)



3年 西原麻里子

キャリアカウンセリングの理論と実践を通して傾聴することの大切さを学びました。また、日常生活にも役立つカウンセリングマインドを身につけることができたように思います。自分のキャリアを築いていくために今、何をすべきなのか考えさせられました。

#### 産業・組織心理学 (坂爪洋美担当)



3年 永野原早紀

多様な人々が働く組織では様々な問題が発生します。そのような職場で一人一人が自分の力を発揮するにはどうしたら良いか、心理学的観点を用いて考えます。講義をふまえて自分で解決策などを考える機会が与えられるので、多角的な視点を身につけることができました。

#### 家族論 (斎藤嘉孝担当)



3年 浅野有希

家族論では、どんな形であれ、誰にとっても身近な「家族」について、良い面だけでなく、虐待・DV・夫婦関係・不妊など深いトピックを学びま。今まで当たり前と思っていた「家族」を見つめ直す良い機会となる講義です。学問的に学ぶのはもちろんですが、人としても成長する場となる講義だと思います。

# 国際社会での多様な実践

## 体験型選択必修科目

### 〈海外の活動〉

体験型選択必修科目には、海外でのインターンシップを実施する授業もあります。いずれも、学生が自分で準備し海外に出て現地で生活し帰ってくる。その活動の質を、丁寧な事前学習と事後学習とで高めます。



**キャリア体験(A)**  
2015年度受講

**Interview**  
3年 貝美波

### —キャリア体験(A)はどのような授業ですか？

この授業では、海外の企業を自分で探してインターンを申込み、実際に活動してきます。事前指導では、グループワークを中心にインターンの心構えを学びました。社会に求められる能力とは何か、そもそも働くとは何なのか…。そんなことを繰り返し話すうちに、自分の目指す働き方が見えてきました。英語での自己PR文書やカバーレターの作成はハードでしたが、先生方の丁寧なサポートはとても心強く、アメリカのサンディエゴの日系出版社に無事決まりました。帰国後の事後学習では、インター



ンの振り返りの他、エッセイ執筆なども。また、日経新聞企画CCP(キャリアチャレンジプログラム)に参加し、私は日立ハイテクノゾの課題に挑戦しました。他大生との関わりは刺激的で、自己啓発に繋がる貴重な体験だったと実感しています。

### —サンディエゴでのインターンシップはいかがでしたか？

人生で一番、自分の未熟さを痛感した一か月間でした。英語力やPC応用能力などスキル面ではもちろんですが、職場での雑談力の無さ、幼さなども感じました。しかしそれは自分の弱点の早期発見ができたのだと受け止め、現在もアルバイト先などでその克服に努めています。挫折が多かった分、学びも多く、このインターンシップはとても充実したものでした。

### —サンディエゴで得られたものはなんですか？

自信です。一か月間の英語漬けで培った語学力、土地勘のない地での順応力、限られた期間を大切に過ごそうとしたゆえの行動力など、その全てが結果的に私の財産になりました。これらは私自身の大きな自信として、これからの私を支えてくれるのだろうと思っています。

## キャリア体験学習(国際)

海外に2週間滞在し、異文化の中ではたらくことを体験するプログラムです。2015年度は、アジア経済・世界経済で重要な役割を担う中国(北京)やベトナム(ホーチミン)に滞在しました。春学期に事前学習の授業でインターンシップ先の企業探し、滞在先探し、現地の言葉の学習などを行います。夏休みを利用して現地へ行き体験し、帰国したのち、秋学期に事後学習を行います。各自が体験してきたことの意味、意義を探求し、12月に学部開催の報告会を実施します。この授業では、企業でのインターンシップと同じぐらい、現地との文化交流を重要視しています。食事や交通機関、買い物等の日常生活の体験はもちろん、事前に現地の言葉や歴史を学び、現地大学生との交流もはかります。



ホームレスの子どもたちの孤児院を運営するNPOでのインターンシップ

ホーチミン・戦争証跡博物館の見学

## ゼミ(演習) — 国際的な活動をするゼミの一部を紹介します



田中ゼミ

「グローバルなシーンで活躍する」を共通目標に掲げる田中ゼミでは、毎週、20枚程度の最新英文ジャーナルをもとに議論を深めています。また、机上の理論に囚われることなく、体験的な活動と経験的な学びを重視して、海外の大学生とのゼミ交流も積極的に行っています。ゼミ生の9割以上が中長期の留学経験や国際インターン経験を積んでいます。



坂本ゼミ

メディアを通して国際交流をおこない、発展途上国への学習支援活動をする。これが坂本ゼミの活動です。自分たちで取材をして映像番組を制作し、メディアを活用しながら、国内の小学校と海外の小学校との国際交流を支援します。3年次には海外研修を行い、海外の大学の学生との協働学習をおこないます。

## Study Abroad

海外の提携大学に留学し、約15週間の英語講座を受講できます。集中的に英語を学び、英語によるコミュニケーション能力を向上させるとともに、今後のキャリア形成の軸となる実践的英語スキルの取得を目指します。SA参加者は半年間、留学に向けた英語講座を受講します。英語力の向上と同時に、参加メンバーの交流を深め、安心して留学先に向かいます。留学先はアデレード(オーストラリア)、オークランド(ニュージーランド)で、このプログラムに参加すると16単位が認定されます。



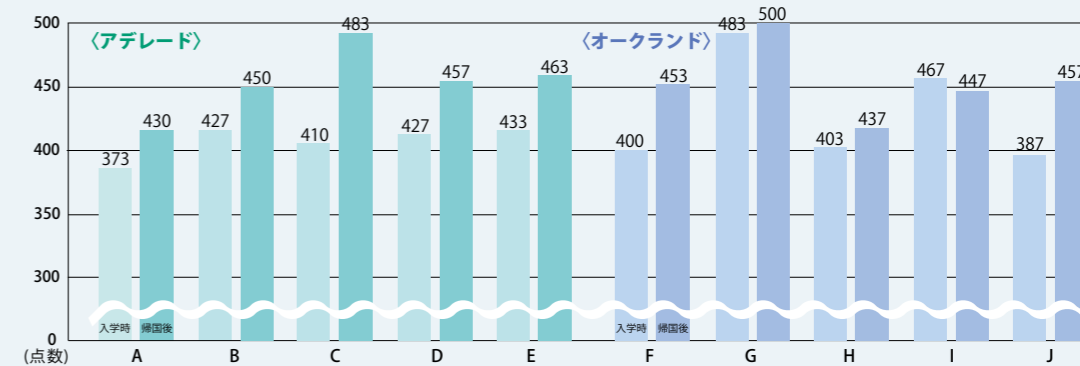
### 伊東 慶(3年) / オークランド(ニュージーランド)に滞在

約4ヶ月の留学生活は、今までの人生においてとても大きなものでした。海外で初めて暮らし、全く知らない家族の家にホームステイをし、異文化の中ですべての生活を英語で行うということは、頭ではわかっていても実際にやってみると最初のうちはすごく疲れました。しかし、留学先の学校でできた友達や、ホストファミリー、ニュージーランドのあたたかさのおかげで、次第に毎日が楽しくなってきました。英語学習においては、毎日学校に朝から通って勉強していたため、留学で重視されがちリスニングとスピーキングだけではなく、エッセイやプレゼンテーション、文法の学習も行い、帰国後に受けたTOEIC・TOEFLでは高い点数を取ることができました。また放課後友達の家に遊びに行ったり、海岸に行ったり、休みに飛行機で旅行をしたりなど、私生活の面でも満喫できました。日本ではできないことを意識し、毎日違うことをして過ごした日々は、初めて日本を長い間外側から見られて、改めて日本の魅力に気付けた貴重な時間でした。



2016年度SA派遣学生(A~J, 10名)  
**TOEFL ITP**  
スコアの変化

帰国後は平均37%アップ





# 学びの核(コア)をつくる——ゼミ

大学の学びの中心は「ゼミ」。大学は「偏差値」ではなく「教授陣＝ゼミ」で選べ。よくそう言われます。なぜでしょうか。高校の授業とは違い、大学の講義の多くは受講生数百人の大規模授業。目的は知識の習得です。だからこそ、習得した知識を自分で考え、仲間と議論し、社会に向けて発信し自らを鍛える場が必要です。それが、大学の「ゼミ」なのです。

- 1 ゼミは少人数制、多様な教授陣のもとで研究のイロハを学び、4年間の集大成となる「卒業論文」を書きあげます。
- 2 キャリアデザイン学部のゼミは実践型。企業や学校、NPOでさまざまな「はたらき」を実践します。他大学との交流もさかんです。
- 3 大規模大学としてはめずらしいことに全員がゼミに入れます。

## 学生研究発表会

年度末に開かれる学生研究発表会では、領域の異なる複数のゼミで卒業研究の成果などを発表し、議論します。異なる分野・テーマで学んできた人をどう納得させるか。「他流試合」で学生は大きく成長します。卒業生や保護者の方々も参加されます。



## 高校生にゼミを公開中!

学部HPよりお申込みください。定員があります。



29あるゼミの一部を紹介します

## 発達・教育キャリア領域

### 筒井ゼミ (教育社会学)

自分はどんな社会で生きていきたい? それには、教育・労働・地域・政策はどうあればよい? 明確なビジョンを抱いて社会に出るため、筒井ゼミでは、調査・分析・論文執筆を、みんなでガッツリ学びます。ユーモアと説得力のあるプレゼンテーションの技も磨きます。2015年度は同志社大学、立命館大学、労働相談・教育NPOと一緒に、「バイト・インターンシップ・就活」をテーマにしたシンポジウムを開催しました。



### 遠藤ゼミ (臨床教育学)

遠藤ゼミの活動は主に2つ。1つは、ボランティア実践、もう1つは約3本の論文執筆です。ボランティアでは、離島の小中学校で年2回合宿をし、レクリエーションやキャリア教育を実践します。論文の集大成となる卒業論文は、ゼミ生がテーマを自分で選択し、1年半かけて書き上げます。両活動に通じるのは、教育現場でのひとの学びを深く鋭く探究すること。コミュニケーション能力や人間観察分析力、表現力が必須になり、体感、体験を学問知に高める力を磨きます。



## ビジネスキャリア領域

### 酒井ゼミ (マーケティング論)

酒井ゼミでは、ゼミ生がチームを組んで、企業や自治体とコラボレートした商品開発、イベント企画、サービス事業や地域活性化活動を行っています。カシオ(製造業)とコラボしたプロジェクトや、古民家カフェの経営、デザイン化による伝統工芸産業の活性化活動など、「教室で考えるよりもまず街に出てやってみる」をモットーに実践中です。また他大学とのコンペティションにも積極的に参加しています。2015年度は読売新聞大学生マーケティングコンペで優秀賞を受賞しました。



### 梅崎ゼミ (地域マネジメント論)

梅崎ゼミでは、地元の新宿区・神楽坂を対象に、地域マネジメント研究に取り組んでいます。神楽坂の人々は、自分たちの人生や仕事、街の歴史をどのように考えているのか、そのひと自身の言葉で語られることを集約していくオーラル・ヒストリー(口述の歴史)という研究手法を用います。地域活性化のためのイベントと連携しながら、たくさんの方々の仕事や人生の「語り」を集め、人々のキャリアデザインと地域のつながりを探求しています。



## ライフキャリア領域

### 荒川ゼミ (地域文化創成論)

荒川ゼミでは、文化やアートを「創造的なコミュニケーションの触媒」ととらえ、まちづくりや地域活性化、コミュニティ形成などに活かしていく方法を探っています。毎年、国内のさまざまな地域でフィールド調査を行ったり、アートプロジェクトを実践したりしています。2015年度は千代田区の防災フェスタにおいて、親子で防災グッズを制作するワークショップを実施しました。



### 佐藤(恵)ゼミ (社会学)

「社会学への招待:『常識を疑え!』」が本ゼミのテーマです。社会学は、常識を疑い相対化する実践を重視します。マイノリティ、被災者、犯罪被害者、失業者、帰国子女、etc... 私たちの生きる実社会は、実に多様で、狭い見識で思い込んでいる「常識」では太刀打ちできません。自分のものの見方・考え方の幅を広げ、新たな気づき・学びを得ていく実践に取り組むことを通じて、どのようなキャリアデザインにも必要不可欠な力、すなわち自分たちの常識を変えていく力を養います。



# 多彩な教授陣が皆さんの学びをサポートします

## 発達・教育キャリア領域

## ビジネスキャリア領域

## ライフキャリア領域



**遠藤 野ゆり 准教授**  
Noyuri Endo  
**現象学的臨床教育学**  
学校、家庭、貧困、障害…子どもや若者を取り巻く状況が生み出すさまざまな「生きづらさ」はどのようなものなのか、どうすれば乗り越えられるのかを、当事者の視点から明らかにします。




**高野 良一 教授**  
Ryoichi Takano  
**教育行政論 学校イノベーション**  
日本だけでなくアメリカのちょっと変わった学校を訪ねて、学校って何だろうと考えてきました。それを少し堅く表現すれば、学校改革の日米比較研究となります。



**上西 充子 教授**  
Mitsuko Uenishi  
**労働問題 職業能力開発**  
学校から職業への移行過程と初期キャリアにおける諸問題を、社会に出て行く若者の側、若者を受け入れる企業の側、そしてそれをつなぐ労働市場や移行を支える社会政策、という3つの側面から考察します。




**坂爪 洋美 教授**  
Hiromi Sakazume  
**産業・組織心理学 人的資源管理論**  
働くことはお金を稼ぐだけ手段であるだけでなく、達成感や成長感をもたらします。しかし同時に、強いストレスや心身の健康を阻害する側面を持っています。働く人々にとって望ましい職場とは何か、心理学の立場から検討します。




**荒川 裕子 教授**  
Yuko Arakawa  
**西洋美術史 アートマネジメント論**  
個人のアイデンティティや価値観の形成に大きく関わる「文化」や「コミュニティ」、さらには私たちの感性や自由な発想を刺激する「アート」に焦点を当て、地域の文化振興やまちづくりに創造的にコミットしていく方法を探ります。



**趙 宏韓 教授**  
Zhao Hongwei  
**国際関係学 政治学**  
国際社会は生きもの、日々ドラマが繰り返り広がっています。そのドラマの現在、由来、メカニズムを考察する目を養い、国際社会で活躍する力を養いましょう。特に、人々の出生地や国家の問題、アジアの現状を学びます。



**児美川 孝一郎 教授**  
Koichiro Komikawa  
**青年期教育 キャリア教育**  
現代日本における若者のキャリア発達に及ぼす社会的な諸影響と、彼らのキャリア形成上の諸課題を明らかにします。そのうえで、そうした若者に対する家庭・学校・地域からの支援のあり方について考えます。



**田澤 実 准教授**  
Minoru Tazawa  
**生涯発達心理学 教育心理学**  
「移行期の若者」を主なテーマとしています。量的調査または質的調査を用いてその対象者の移行の現状を明らかにします。移行を促進する要因および妨害する要因を検討し、支援のあり方について考察をします。



**梅崎 修 教授**  
Osamu Umezaki  
**労働経済学 地域マネジメント オラルヒストリー**  
企業や地域の中で人々はどうに働いているのか、優れたリーダーは如何にして企業や地域をマネジメントしているのか。経済学の観点から「組織と仕事の現在」をインタビューと観察法で掘り起こします。



**佐藤 厚 教授**  
Atsushi Sato  
**産業社会学 人的資源管理論**  
組織の在り方と働く人々のキャリアの在り方がますます多様化する中で、両者のニーズをどのようにマッチングさせていくのか、その条件や環境を人的資源管理とキャリアという視点から、理論的かつ実証的に研究していきます。



**金山 喜昭 教授**  
Yoshiaki Kanayama  
**博物館学 博物館経営論**  
少子高齢化で衰退する地域社会の現状と課題を明らかにし、地域活性化のあり方を考えます。自治体、NPO、文化施設からの視点による実践的な取り組みをしています。



**安田 節之 准教授**  
Tomokuki Yasuda  
**コミュニティ心理学 プログラム評価論**  
超高齢社会で生じる多様なライフキャリアの課題について考え、課題解決のあり方を考えます。そのために、活動・実践・支援・援助を「見える化」し、効果を「データ」で確かめるプログラム評価の知識とスキルを習得します。



**坂本 旬 教授**  
Jun Sakamoto  
**情報メディア教育学 図書館情報学**  
メディア・リテラシーと情報リテラシーを研究しています。メディアを通して世界を考え、自らの身体を通して異文化を体験し、自らの手で社会を変える力をともに学びましょう。



**筒井 美紀 教授**  
Miki Tsutsui  
**教育社会学 労働社会学**  
「こんな社会で生きていきたいなあ」——教育・労働・生活・文化・政策に跨る調査力と分析力を磨きつつ、自分とは相容れない、多様な人びとの生活事情や価値観とも向き合って、自分自身の社会ビジョンを創り上げましょう。




**木村 琢磨 准教授**  
Takuma Kimura  
**組織行動論 人的資源管理論 戦略経営論**  
企業経営の観点から、会社の業績を向上させるための人材マネジメントのあり方を考えます。経営戦略を効果的に形成・実行するための人材マネジメントを、施策の構築・運用の両面から考えます。




**武石 恵美子 教授**  
Emiko Takeishi  
**人的資源管理論 女性労働論**  
社会の構造、企業の人事管理の変化に伴い、働く個人が「自律的に」キャリアを開発することが重要になっています。働く一人ひとりのキャリアデザインを軸に置いて、社会システムや雇用のあり方について多角的に考察します。




**斎藤 嘉孝 教授**  
Yoshitaka Saito  
**家族社会学 社会調査**  
家族・子ども・結婚・親子・男女関係等を鑑に、自身のキャリア・他者支援や、職業生活・社会問題・国際比較等を考えます。仕事と家庭生活のバランスや、関連する実際のプログラム・制度等について、調査分析を行います。



**山田 泉 教授**  
Izumi Yamada  
**日本語教育、多文化教育**  
グローバル化の進む世界にはどのような素晴らしさがあり、どのような問題があるのか？その現状を読み解きつつ、多文化化が進む日本社会における言語的・文化的マイノリティ問題について考究し、公平、公正な多文化共生社会実現の道を探ります。



**笹川 孝一 教授**  
Koichi Sasagawa  
**生涯学習学 リテラシー論**  
現代社会では、自分の「エゴ」=私と、他の人の「エゴ」=私を、互いに大切にしたい、利害調整して「私たち」を作り、人と社会と自然の持続可能性を実現することが大事です。そのためのキャリアデザインを一緒に考えましょう。



**寺崎 里水 准教授**  
Satomi Terasaki  
**教育社会学 学校社会学**  
学校にはなんのためにいきますか。知識を身につけるため？友達づくり？単なる人生の通過点？よりよい将来のための学歴稼ぎ？教育社会学の観点から、学校と人、社会との関わりについて考えます。



**小門 裕幸 教授**  
Hiroyuki Kokado  
**アントレプレナーシップ論 シティズンシップ論**  
専門は経済・金融、地域経営。欧米、とりわけシリコンバレーに詳しく、実業界の出身、内外での金融経済実務経験などを活かしてグローバルかつイノベティブな視点から授業を行っています。キャリアデザイン学に関心。



**中野 貴之 教授**  
Takayuki Nakano  
**会計学**  
「キャリアデザインに関する実証分析」がテーマです。研究したいテーマを各自が自由に選択し、計量分析の手法を用いて、科学的に解き明かしていきます。その過程では「学問の面白さ」を体感できるとともに、論理的に思考する力も獲得できます。




**佐藤 恵 教授**  
Kei Sato  
**地域社会学 福祉社会学 犯罪社会学 社会調査**  
「常識を疑え！」というテーマのもとで、社会・文化についての研究を行うのが社会学です。常識を疑いつつ、自分のものの見方・考え方の幅を広げ、自分にとっての新たな気づき・学びを得ていく実践に取り組みます。

教職課程センター長




**尾木 直樹 教授**  
Naoki Ogi  
**臨床教育学**  
いじめ問題をはじめとするさまざまな教育現象やニュースを素材にしながら、国際的な広い視野で子どもの発達、教育のあり方について考えます。フィールドワークを重視し、具体的な問題解決に向けた調査・研究、理論学習を展開します。時代を切り拓く批判的思考力と表現力を養うことで、学生自身の教育観や社会観、人間観が鍛えられるでしょう。



**佐貴 浩 教授**  
Hiroshi Sanuki  
**教育政策論 教育課程論**  
戦後の日本社会の構造的変化をたどり、子どもと若者をめぐる現実、学校や家族、教育のゆくえを考えます。また、人権、労働権、生存権保障の仕組みと理念の変化を検討し、課題を明らかにします。



**宮城 まり子 教授**  
Mariko Miyagi  
**臨床心理学 キャリアカウンセリング 生涯発達心理学**  
①キャリア形成とキャリア開発を支援するカウンセリング(キャリアカウンセリング)の理論と具体的なキャリア支援の方法を学びます。②子どもから大人(中高年)に至る心の発達と変化を生涯発達のプロセスを通して学びます。



**酒井 理 教授**  
Osamu Sakai  
**サービス・マーケティング スモールビジネス・マネジメント 消費者行動**  
マーケティングという社会に価値を創出す身近な活動について研究しています。私たちが生きる将来の社会のあり様とその変化を分析し、その中で求められる価値とは何かを考察します。さらに、実践を通して価値創造の方法論を探求しています。



**八幡 成美 教授**  
Shigemi Yahata  
**職業能力開発 人事労務管理**  
人生で重要な位置を占める職業キャリアの実証的研究をしています。公共職業訓練、企業内教育、人事労務管理、グローバル人材育成、技術革新など、職業とキャリアに関する幅広い領域を研究しています。



**田中 研之輔 准教授**  
Kennosuke Tanaka  
**国際社会学 社会調査**  
「働く現場」の諸問題と「働く人びと」のキャリア形成との相互関係について社会学の視座からアプローチします。とくに、インタビュー法やフィールドワーク等の質的調査によって国内外の働くリアルを浮かび上がらせます。

# キャリアデザインに生かすクアリフィケーション

## 教員免許

○中学校（一種）社会科  
○高等学校（一種）地理歴史科・公民科・商業科  
中学・高校の社会科一種教員免許を取得することができます。教員免許の取得には、文部科学省の定めた、教職に関する所定の科目を修了することが必要です。「はたらく」「暮らす」ことについても学べる本学で教員免許を取得することは、社会全体の労働や生活をふまえて教育を論じられる教員になることを意味しています。とりわけ、近年必要性の増しているキャリア教育について高い専門性を備えた教員を養成しています。

## キャリアサポート体制

法政大学全体のなかで「教育学」を取り扱うのはキャリアデザイン学部です。そのため、教員免許取得に要する単位のうちの一定単位数を、卒業に必要な科目として設定し、学生が教員免許を取得しやすいようになっています（その他の資格科目も同様です）。必要科目の履修については、学部専任のアドバイザーも相談にのります。教育実習事前指導など教職に関する諸科目ではきめこまやかな指導が受けられます。法政大学の教育学関係の専任教員は本学部に所属しており、教育学に関して幅広く学べるだけでなく、適切な指導や助言が身近で得られます。

## 教職課程センター（センター長 尾木直樹）

教員免許取得を支援するための全学向けセンターです。校長、教頭経験の元教員がスタッフとして常駐し、教員になるためのサポートをします。また学生同士での学習会や、採用試験合格者の声を聞く会など、学生同士の学び合いをサポートします。



2015年度中学校・高等学校教員免許取得  
(八王子市立由井中学校社会科教諭)

笹谷 寛 (2016年3月卒業)

本学で何よりよかったのは、教職科目以外の教育学についても、学部で専門的に学べたことです。その結果、教員の多忙など現場が抱える課題や、海外の教育事情などを幅広く学ぶことができました。そして、教育現場の厳

しさをよく知ったうえでそれでもやはり教師になりたいと思い、教職を志すことができました。この決断は、組織の人材育成や地域コミュニティの形成など、通常の教育学では学ぶことがないけれど、本当は教員にとって理解しておくことが絶対に必要な問題も専門的に学び、自分の強みにできた、と思えるようにでたからこそ可能になりました。

## 博物館学芸員

所定の科目を修了することで、社会教育施設である博物館（歴史博物館、美術館、文学館等）の専門職員である「博物館学芸員」の資格が取得できます。博物館学関係の専任教員は本学部に所属しており、学芸員志望の学生にとっては、適切な指導や助言が身近で得られます。

## 図書館司書・司書教員

所定の単位科目を修了することで、図書館業務の専門職である「図書館司書」、および学校図書館の専門的職務を担う「司書教諭」（ただし教員免許の取得が必須）の資格が取得できます。これらの資格を統括する専任教員は本学部に所属しており、司書志望の学生にとっては、適切な指導や助言が得られます。

## その他の取得可能な資格

■社会教育主事 ■日本語教師 ■会計プロフェッション（公認会計士など会計に関する諸専門資格） ■ファイナンシャルプランニング技能試験 ■簿記検定 ■秘書技能試験 ■地域学習支援士（地域住民が自主的に地域づくりの学びを深めることを支援、コーディネートすることのできる資格。本学部独自の資格です） などなど

## 就業研究

キャリアデザイン学部には若者の就職と労働を専門的に研究する教員が多数います。学生は、働くことの意味や仕組み、課題などを、深く学問的に学ぶと同時に、この学びに基づいて自分たちのキャリアを考えることができます。ここでは就業に関する教員の研究の一部を紹介します。

### 学生・企業の数量分析



梅崎 修

就職・採用活動の実態把握のために、就職情報会社とも連携しながら学生・企業調査の数量分析を行っています。分析によって就職の支援や採用のコンサルティングが可能になり、結果的に企業と学生の良いマッチングへと繋がります。ひとつの成果として、2013年に『教育効果の実証—キャリア形成における有効性』（日本評論社）や『大学生の学びとキャリア—入学前から卒業後までの継続調査の分析』（法政大学出版局）が刊行されました。

主な著作  
『仕事マンガ!—52作品から学ぶキャリアデザイン』（単著、ナカニシヤ出版、2011年）  
『GIANT KILLING チームを変えるリーダーの掟』（単著、あさ出版、2013年）

### 職場の実態調査



上西 充子

せっかく就職しても劣悪な働き方の中で若者が使い捨てられていく問題が社会的に注目されています。在学中のアルバイト就労においても、既に学生は労働問題に直面しています。劣悪な働き方からどう身を守っていくのか、さらにはどうやって自分達で職場を改善していくことができるのか。労働相談のNPOや弁護士とも連携しながら、実態調査を行い、あるべき労働法教育を考え、政策提言を行っています。学部では2013年度より連合寄付講座「働くということと労働組合」も実施しています。

主な著作  
『ブラック企業のない社会へ』（共著、岩波書店、2014年）  
『就職活動から一人前の組織人まで』（共著、同友館、2010年）

### 教育・就労問題の研究



児美川 孝一郎

学校段階でのキャリア教育や若者の就労問題について、いま何が問題なのかを研究しています。新卒一括採用、終身雇用という働き方が崩れつつあるのに、若者のキャリア形成や就労に対して、家庭も、学校も、政府も、社会も十分に適切な支援ができていません。若者が新しい社会に柔軟に対応できるようになるための、親のわが子への向き合い方、学校内外での学びのあり方を探求しています。

主な著作  
『キャリア教育のウソ』（単著、筑摩書房、2013年）  
『キャリアデザイン学への招待』（共編著、ナカニシヤ出版、2014年）  
『まず教育論から変えよう!』（単著、太郎次郎社エデュタス、2015年）

## 充実のキャリアサポート体制

### 充実したアドバイザー陣

キャリアデザイン学部専任の5名のアドバイザーが履修相談から就職活動までをサポートします。

### キャリアアップ奨励金制度

本学部の趣旨に合致する資格試験の受験や講座の受講料を補助します。フィナンシャルプランニング技能試験、簿記検定、秘書技能試験などが対象です。

### キャリアセンター（全学）

就職活動の流れやインターンシップ支援、学内企業先行、OB/OGによる企業紹介などきめ細やかなキャリア支援が受けられます。

# 2016年3月に卒業した皆さんに学部での学びを聞きました



英文ジャーナルと毎週格闘し、それを乗り越えたことが大きな自信です。

みずほフィナンシャルグループ  
金城 仁美

めまぐるしく変化する社会状況の中で、「何が大切なのか、自分に必要なものは何なのか」を考え続けた4年間でした。キャリアデザイン学部での3つの領域の学びと所属したゼミの専門的な学びにより、私は柔軟で幅広い視座を獲得することができました。「働くことと生きること」を具体的に探求することができたライフキャリアという視座は、私の財産です。就職活動でもやりたい仕事をみつけ、第一志望先でこれから働いていくことができます。会社経営者、NPO法人理事、映画監督といった様々な業界で働くキャリアモデルから直接学ぶことができたゲスト講演会への参加とゼミで課題英文ジャーナルと毎週格闘し、それを乗り越えたことが大きな自信です。



「自身を理解し、就職からその後のキャリア形成までしっかりと見据え、行動する意識」を身につけられたことは最大の成果。

さいたま市役所  
今井 俊介

私は入学当初、興味や関心、就きたい職業などどれも曖昧で、将来に対する展望が十分ではありませんでした。けれども、専門の発達・教育分野だけでなく、企業や地域の暮らしなど様々な分野を自由に学べる本学のカリキュラムのおかげで、私は、自分にとって本当に興味のあることは何なのかを発見していくことができました。特に、キャリアサポート実習で高校にキャリア支援に行くなど、実践的な学びの機会を多く積んだおかげで、多岐にわたる分野で市民のキャリアをサポートしていきたいと、公務員を志すようになりました。「自身を理解し、就職からその後のキャリア形成までしっかりと見据え、行動する意識」を身につけられたことは最大の成果であり、これからの私にとって大きな支えになると思います。



学校外の人々との交流が多く、さまざまな立場の多様な人々と知り合えたり、社会の厳しさのなかで自分を見つめなおす機会を得られました。

大日本印刷  
大高 愛純

高校時代、やりたいことがたくさんありすぎて、将来の見当がつかなかった私にとって、入学後に、講義を受けながら自分の人生についてしっかり考え、自分の専門性を選択することができるこの学部は、非常に魅力的でした。特に、インターンシップやゼミなどを通じて学校外の人々との交流が多く、さまざまな立場の多様な人々と知り合えたり、社会の厳しさのなかで自分を見つめなおす機会を得られることが、本学部のよいところだと思います。自分の今学んでいることは実際に社会にどのように生かしていけるのか、これを試す機会が学生のうちに多くあったことは、就職活動を終え社会に出ていこうとする今、本当によかったと思っています。

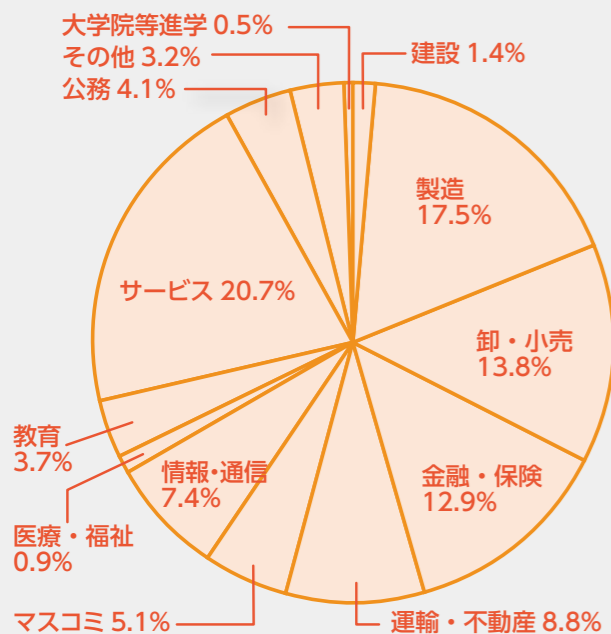


自分の可能性を広げることを後押ししてくれるのがキャリアデザイン学部です。

デロイト・トーマツ  
芳澤 僚

私がキャリアデザイン学部を選んだのは、学びの選択の自由度が高そうだと直感したからです。そしてそれは間違っていないと思います。発達教育・ビジネス・ライフの3領域から成るカリキュラムは、幅広く物事を学ぶのにこの上ない環境であったと思います。私は、キャリアカウンセリング(教育分野)や、マーケティング論(経営分野)の授業を受講したことをきっかけに、企業に対するコンサルティングの仕事に興味を持ちました。そして新年度からは経営コンサルタントとして働く予定です。この選択はこの学部で在籍していたからこそのものだと考えています。自分の可能性を広げることを後押ししてくれるのがキャリアデザイン学部です。

## 2016年3月 卒業生業種別就職先



## 卒業後の進路

- 【建設】五洋建設(株)、(株)本間組、生和コーポレーション(株) など
- 【製造】(株)日立製作所、大日本印刷(株)、日産自動車(株)、コクヨ(株)、(株)山善、キリンビバレッジ(株)、三菱マテリアル(株)、杏林製菓(株)、日立オートモティブシステムズ(株)、(株)ルック、MeijiSeikaファルマ(株)、日本航空電子工業(株)、塩野義製薬(株)、トピー工業(株)、大同信号(株)、東京応化工業(株)、(株)小坂研究所、住友電装(株)、TANAKAホールディングス株式会社、千寿製菓(株)、(株)丸善、オリエンタルモーター(株)、不二サッシ(株)、トッパン・フォームズ(株)、日本農業(株)、東洋電装(株)、太平洋セメント(株)、(株)アートコーヒー など
- 【卸・小売】(株)サンリオ、(株)ニトリ、日本ユニシス(株)、伊藤忠エネクス(株)、(株)パルコ、(株)ファーストリテイリング、アスクル(株)、ナイス(株)、(株)ヤナセ、住商メタレックス(株)、キャンノンマーケティングジャパン(株)、(株)ハピネット、JFE商事(株)、(株)セブソーイレブ・ジャパン、(株)ユニクロ、阪和興業(株)、(株)イオンフォレスト、伊藤忠紙パルプ(株)、三井住商建材(株)、(株)小田急百貨店、(株)ファミリーマート、(株)山星屋、花王カスタマーマーケティング(株)、リコージャパン(株)、三菱商事パッケージング(株) など
- 【金融・保険】(株)みずほフィナンシャルグループ、(株)三井住友銀行、野村證券(株)、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)埼玉りそな銀行、大和証券(株)、三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)、(株)千葉銀行、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)みずほ銀行、(株)京葉銀行、エムエスティ保険サービス(株)、巢鴨信用金庫、(株)クレディセゾン、(株)オリエ

- ントコーポレーション、三井住友カード(株)、長野県信用組合、東京シティ信用金庫、日新火災海上保険(株)、富国生命保険(相)、マネックス証券(株)、ヤマトフィナンシャル(株) など
- 【運輸・不動産】東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)、野村不動産アーバンネット(株)、(株)サンシャインシティ、東海旅客鉄道(株)、日本航空(株)、全日本空輸(株)、(株)JALスカイ、(株)オープンハウス、(株)共立メンテナンス、(株)ルミネ、(株)ジェイアール東日本都市開発、郵船ロジスティクス(株)、(株)ネクス東日本エンジニアリング、(株)新開トランスポートシステムズ、(株)アルプス物流、大東建物管理(株) など
- 【マスコミ】(株)博報堂、(株)東北新社、(株)サイバー・コミュニケーションズ、福島民友新聞(株)、(株)東急エージェンシー、ヌーベルメディア(株) など
- 【情報・通信】ソフトバンク(株)、エヌ・ティ・ティ・システム開発(株)、明治安田システム・テクノロジー(株)、(株)富士通システムズウェブテクノロジー、NECネットエスアイ(株)、(株)沖データ、楽天(株)、エヌ・ティ・ティ・システム開発(株)、NCS&A(株)、(株)U-NEXT、(株)富士通エフサス、NTTデータジェトロニクス(株)、(株)ミクシィ、(株)インフォテック朝日 など
- 【医療・福祉】(福)素心会、静岡県厚生農業協同組合連合会 など
- 【教育】東京都教員、(株)ベネッセコーポレーション、(学)法政大学 法政大学中学高等学校、(学)青山学院大学、(学)杏林学園 杏林大学、

- (学)駿河台学園、(株)四谷大塚、安部学院高等学校、(株)城南進学研究社 など
- 【サービス】デロイトトーマツコンサルティング(株)、(株)JTB首都圏、近畿日本ツーリスト(株)、(株)オリエンタルランド、(株)DNPメディアクリエイト、(株)インテリジェンス、(株)リクルートマーケティングパートナーズ、(株)ジェイエイシーリクルートメント、(株)東京ヒューマニアエンタプライズ・ホテル日航、(株)パナソニック、(株)リクルートドクターズキャリア、横浜農業協同組合、公益(財)結核予防会、三菱オートリース(株)、(株)リクルートキャリア、スタッフサービスグループ、東武トップツアーズ(株)、旭化成アミダス(株)、(株)セブテーニ・ホールディングス、ちばみどり農業協同組合、日本郵便(株)、(株)WOWOWコミュニケーションズ、(株)マーケットエンタープライズ、三菱UFJリース(株) など
- 【公務】厚生労働省、さいたま市役所、茅ヶ崎市役所、神奈川県警察本部、富山県警察本部、辰野町役場、昭和田役場 など
- 【その他】起業[3]、自営業(東京都)[1]
- 【大学院等進学】早稲田大学大学院

本学には夜間の社会人大学院「キャリアデザイン学研究所(キャリア教育・発達プログラムおよびビジネスキャリアプログラム)」があります